

4月23日に全国の6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校の結果と今後の支援・指導についてお伝えします。

【結果】…全体的に全国や岐阜県の傾向と大きくは変わらないです。

1 国語 この結果は全学年の支援・指導に生かしていきます。

- 比喩や反復といった表現の工夫に気付くことができる。
- 複数の情報の関係を理解し、理由や事例と関連付けて自分の考えをもつことができる。
- 文章を読んで理解し、自分の考えとしてまとめることができる。
- ▲資料を活用して、自分の考えが相手に伝わるように表現を工夫する力
- ▲文章全体の構成や展開を考える力

2 算数

- 小数の表し方や仕組みがしっかりと理解できている。
- 立方体の体積を計算で正確に求めることができる。
- 示された情報から数量の関係を読み取ることができる。
- ▲「割合」や「1あたり」の考え方を理解する力
- ▲考えた根拠を言葉や数で説明する力や、考えた理由を文章で表す力

☆伸びているところを「○」
これから力を入れていきたいところを「▲」
で示しています。

3 質問紙

- 「規則正しい生活」「毎日朝食を食べて登校」「温かく協力し合える人間関係」など、基本的な生活習慣がしっかりと整っている。また、「いじめは絶対にいけない」という強い意識をもち、今の友達関係に満足しながら、互いに思いやり協力して過ごす温かい姿が見られる。
- 「高い目標意識と諦めずにやり抜く粘り強さ」「将来の夢や目標がある」「人の役に立ちたい」という前向きな意欲にあふれている。
- 国語や算数で学ぶことが将来の社会生活で役に立つと実感できており、授業での話し合いを通して自分の考えを深めている。また、タブレット端末を活用した情報収集にも自信を持っている。
- ▲読書や新聞など「活字」に親しむ機会の充実、日常的に新聞を読む習慣や読書時間、図書館の利用頻度には個人差が見られる。
- ▲「メディア（スマホ・ゲーム・動画視聴等）との上手な付き合い方とルールづくり」が必要である。

【今後、学校で取り組む支援・指導】

☆授業では、複数の資料から必要な情報を引き出して構成を練る学習や、書いた文章を互いに読み合って確かめ合う活動を通し、伝わる文章を書く力を高めていきます。

☆授業では、自分の考え（結論+根拠・理由）をアウトプットする力を高めていきます。

【今後、学校と家庭で協力して取り組むとよいこと】

☆読書や新聞など「活字」に親しむ機会の充実…日常的に新聞を読む習慣や読書時間、図書館の利用頻度には個人差が見られます。学校と家庭で子どもたちに声をかけていけるとよいです。

☆メディア（スマホ・ゲーム・動画視聴等）との上手な付き合い方とルールづくり…学校では、インターネットや SNS の安全な使い方だけでなく、自らの生活リズムや健康を守るためのメディアとの付き合い方について考えます。家庭では、利用ルール（例：「画面視聴時間を決める」「夜〇時までにする」「リビングで使う」など）について親子で話し合ってもらえるとありがたいです。